



スポーツ庁

資料10

次世代ヘルスケア産業協議会 第10回新事業創出WG 説明資料

平成30年12月12日
スポーツ庁

生涯現役社会の構築に向けた「アクションプラン2018」

3. アクションプラン2018

(4) 「選択肢の壁」を超えるためのアクション

③地域資源を活用した新たなヘルスケア産業の創出

Ⅲ 「スポーツ」×「健康」による新たなヘルスケア産業の創出

i) 地域関係者等が連携したスポーツツーリズムの創出

スポーツツーリズム等を活用し、スポーツによる地域の活性化を促進する。具体的には、地域スポーツコミッション（スポーツを核とした地域活性化に取り組む組織等）が行う活動を支援するとともに、スポーツツーリズムのムーブメント創出に向けたプロモーション等を展開する。また、「スポーツ文化ツーリズム」の定着に向けた取組を引き続き実施する。

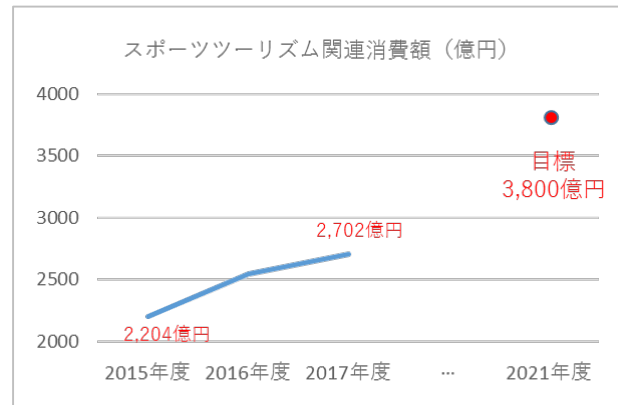
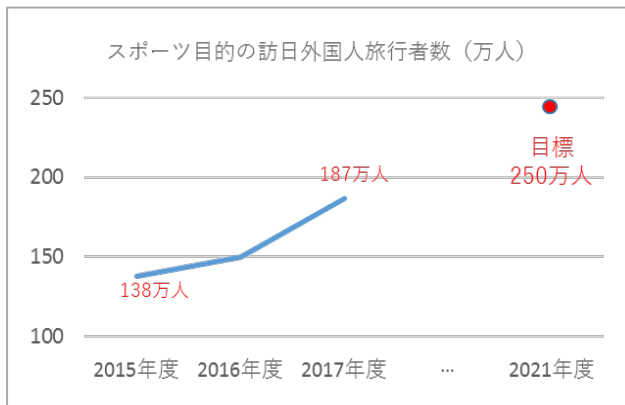
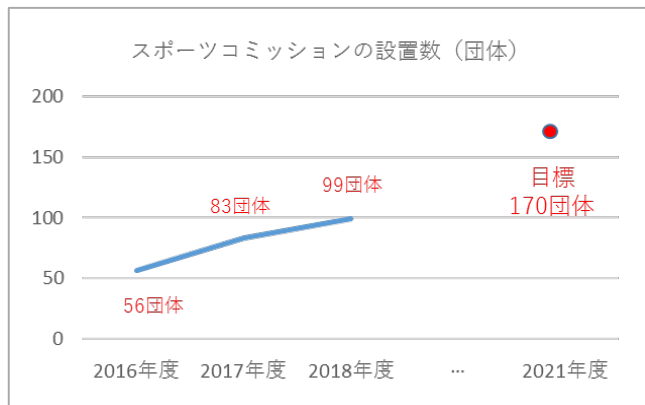
ii) 職域におけるワークスタイルに根ざした運動習慣の構築

通勤時間や休憩時間等を活用して「歩く」ことを促進する「FUN+WALK PROJECT」を官民連携で推進するとともに、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定する。また、誰もが生涯を通じて楽しめる新たなスポーツの開発・普及に取り組む。

i) 地域関係者等が連携したスポーツツーリズムの創出

2018年3月に策定した「スポーツツーリズム需要拡大戦略」に基づき、施策を展開し、スポーツツーリズムの推進を図る。

⇒ 第2期スポーツ基本計画（2017年3月24日文部科学大臣決定）で掲げたKPI（地域スポーツコミッションの設置数：170団体、スポーツ目的の訪日外国人旅行者数：250万人、スポーツツーリズム関連消費額：3,800億円）達成を目指し、以下の3つの柱により取り組んでいる。



①地域スポーツコミッションが取り組むスポーツツーリズム等を支援

2015年度～2018年度の4年間で26の地域の取組を支援。

※「地域スポーツコミッション」とは、地方自治体、スポーツ団体、民間企業等が一体となって、地域活性化に取り組む組織。

【三重県熊野市】

シーカヤックやSUP（スタンドアップパドルボード）等の大会の開催や、観光客が体験しやすい環境を整備。



②スポーツ庁がテーマ別に動画を制作、官民連携してプロモーションを展開

拡大戦略で新規重点テーマに設定した「アウトドアスポーツツーリズム」「武道ツーリズム」に関する動画を制作し、官民連携で国内外へ発信するとともに、関心層データを収集し、HPに公表。

世界に誇る日本の自然資源を活用した「アウトドアスポーツツーリズム」



世界の関心が高い日本発祥・特有の「武道ツーリズム」

③スポーツ庁・文化庁・観光庁が連携し、「スポーツ文化ツーリズム」を推進

各地域のスポーツと文化芸術資源が結び付いた「スポーツ文化ツーリズム」の優れた取組と今後有望な取組を発掘。

【兵庫県姫路市】

世界遺産姫路城や周辺名所・旧所をコースに設定。経済効果は11億円超。



ii) 職域におけるワークスタイルに根ざした運動習慣の構築

- 通勤時間や休憩時間等を活用して「歩く」ことを促進する「**FUN+WALK PROJECT**」を推進
- 社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「**スポーツエールカンパニー**」として認定。
- 誰もが生涯を通じて楽しめる「**新たなスポーツ**」の開発・普及」に取り組む。

【FUN+WALK PROJECT】



- 普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」に着目し、「歩く」に「楽しい」を組み合わせることで、自然と「歩く」習慣が身につくようなプロジェクト。
- 2017年度はビジネスパーソン向けのシンボリックな活動として、「仕事」と「ファッション」を包含する「**歩きやすい服装**」(**FUN+WALK STYLE**)での通勤を推進。通勤時間や休憩時間、昼休み等の隙間時間を活用したスポーツのきっかけづくりを図った。
- 2018年度は10月を「**FUN+WALK 月間**」として設定。
 - ・「アンバサダー」として、**EXILE ÜSAさん、TETSUYAさんを任命し**、任命式を実施
 - ・「**FUN+WALKフェア**」として「歩きやすい服装」にあった商品やロゴマークなどで売場を創出
 - ・8,000歩あるくことで、お得なクーポンやサービスを受けられる「**アフター-5+WALK**」の実施

■キックオフイベント



■ポスター



■アンバサダー任命式



■FUN+WALKフェア (イメージ)



■アフター-5+WALK



【スポーツエールカンパニー】

- 「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的として、2017年度に、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「**スポーツエールカンパニー**」(英語名称: Sports Yell Company)として認定する制度を創設。
- 2017年度は217社を認定。2018年度の認定企業は12月中旬発表予定。
- 主な認定要件
 - (1)特定の従業員にとどまらず、企業、事業所等全体で推進している取組であること
 - (2)経営者の理解を得て、企業、事業所等内部の取組が明確化されていること
 - (3)取組が企業、事業所等内部において周知されており、取組実績があること
 - (4)実施内容、導入手順、運用方法等の公表が可能であること等



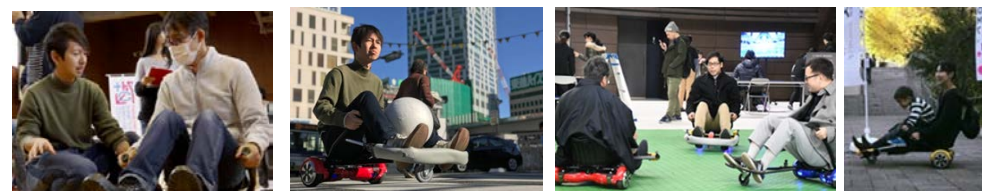
認定証



認定ロゴマーク

【新たなスポーツの開発・普及】

- 2017年度は伝統的な競技種目以外にも「スポーツ」の概念を広げるとともに、「スポーツ」に対する心理的ハードルを下げる観点から、官民連携により「新たなスポーツ」の開発(アイデアコンテスト、ハッカソン、体験会等)を行った。
- 2018年度は新たなスポーツやスポーツ共創(皆で一緒になってスポーツを創ること)が国民に認知され、自律的に広がっていくための基盤づくりとして、普及に向けたシステムの構築、プロモーションの推進、スポーツ共創の実践手法の普及に取り組む。



開発されたスポーツの例「GoonBall」: レバー操作や重心移動のみで移動可能な機器に乗り、敵陣までボールを運ぶ

2018年9月6日策定

スポーツ実施率向上のための行動計画
～「スポーツ・イン・ライフ」を目指して～

広く国民全体に向けたスポーツ実施率向上のための新たなアプローチや、即効性のある取組

- 国民全体に対する普及・啓発策
- 子供・若者、ビジネスパーソン、高齢者、女性、障害者等各層の特性に応じた取組

2019年夏頃

新たな制度創設・制度改正も視野に入れた中長期的な施策

※行動計画策定後1年を目途に取りまとめ予定

中長期的施策に基づく施策に着手、実施

「スポーツ実施率向上のための行動計画」に基づく施策に着手、実施

※スポーツ審議会（健康スポーツ部会）において引き続き議論

2021年度末まで

「成人の週1回以上のスポーツ実施率65%程度（障害者は40%程度）」の達成！

- ・勇気、自尊心、友情などの価値の実感
- ・高い生活満足度、ストレス解消
- ・心身の健康増進
- ・生活習慣病等の予防

健康長寿社会の実現に寄与

【具体的施策の例】

○「FUN+WALK PROJECT」の実施

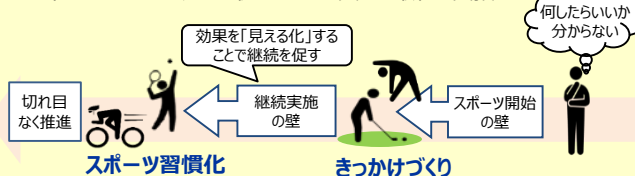
- ・普段の生活から気軽に取り入れることのできる「歩く」に着目し、「歩く」に「楽しい」を組み合わせることで、自然と「歩く」習慣が身に付くようなプロジェクト
- ・通勤時間や休憩時間、昼休み等の隙間時間を活用してスポーツのきっかけ作りを図る「歩きやすい服装」を推進
- ・本年10月を「FUN+WALK月間」とし、さらなる機運の醸成を図る
- ・アンバサダーとして、EXILE ŪSAさん、EXILE TETSUYAさんを任命



EXILE ŪSAさん EXILE TETSUYAさん

○「運動・スポーツ習慣化促進事業」の実施等

- ・無関心層も含め、多くの住民が運動・スポーツに興味・関心を持ち、その習慣化を図るため、スポーツ部局や健康福祉部局等と域内の関係団体が一体となって行う、スポーツを通じた健康増進に資する取組を支援



- ・2019年度に向けて、生活習慣病及び運動器疾患等の生活機能低下を伴うハイリスクな住民が、個々の健康状態に応じた安全かつ効果的な楽しいスポーツを地域で安心して親しめる機会を創出するために必要となる予算を要求
- ・医療機関とスポーツ施設と地方公共団体等が連携を図り、スポーツ医科学の知見に基づいた、疾病コントロールの維持・改善につながる運動・スポーツを習慣化するためのシステム開発及び実践を目指す

○女性のスポーツ実施を促進するための「女性スポーツ促進キャンペーン」の実施等

- ・ライフイベントの変化があっても継続してスポーツを実施できる仕組み・仕掛けを作り出し、女性のスポーツ参加を促す「女性のスポーツ参加促進プログラム」を策定
- ・「楽しくスポーツをする」、「生涯の健康のためにスポーツが重要である」ことを訴えかけ、ワークショップやシンポジウム等の開催、ホームページやSNS等を活用した情報発信を内容とする「女性スポーツ促進キャンペーン」を実施
- ・「スポーツを通じた女性の活躍促進会議」を開催し、女性のスポーツ実施率向上のための方策を検討



- ・2019年度に向けて、「女性のスポーツ参加促進プログラム」のさらなる普及、メッセージ発信を担う「ご当地女性アンバサダー」の任命、健康課題とスポーツの実施効果に関する情報発信に必要となる予算を要求

○「スポーツエールカンパニー」の認定

- ・「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的な機運の醸成を図ることを目的として、社員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業を「スポーツエールカンパニー」として認定する制度を創設
- ・2017年度は217社を認定
- ・2018年度は12月中旬に発表予定



○「スポーツを通じた健康増進のための厚生労働省とスポーツ庁の連携会議」の開催

- ・両省の今後の連携強化のため設置
- ・スポーツを通じた生活習慣病対策、企業における従業員の健康づくり対策、メンタルヘルス対策等を検討していく予定
- ・その他、普及広報や地域（地方公共団体等）における協力策なども視野



※関係省庁、地方自治体、スポーツ団体等の関係機関との連携をさらに強化させ、「スポーツ実施率向上のための行動計画」の具現化を図っていく。